

平和への近道

香芝市立香芝北中学校1年 本山 明日香

私の家のとなりは、長い間空き家だった。庭はどこを見ても雑草ばかりで、今年の春までは、とても静かだった。

ある日、私は、昨日まで閉まっていた雨戸が開いている事に気がついた。誰が引っ越してくるのだろう、そんな事を考えながら、私は母と出かけた。家へ帰って来ると、そこには近所では見かけた事の無い、肌の白い人達が家の前に立っていた。“Hello.” 彼らは笑顔で話しかけて来た。

以前、私はシンガポールに2年間ほど住んでいた事があった。もう一度英語で会話できるという事に、私の胸は高鳴った。それと同時に、久しぶりに話す私の英語は通じるのだろうか、そんな不安も私の頭をよぎった。けれど私は、勇気を出して話しかけた。私が言った事に、彼らは笑顔で返してくれた。その事が、私はとてもうれしかった。そして、話していくうちに、彼らはアメリカからやって来た5人家族だという事が分った。

私達は、すっかり仲良くなり、それから週に一度、家へ遊びに行かせてもらう事になった。遊びに行くと、今まで知らなかったアメリカの文化にたくさんふれる事ができた。例えば、イースター。この日は十字架にかけられて亡くなったイエス・キリストが3日後に復活した、奇跡の出来事を祝う日だそうだ。イースターという名前は聞いた事があったがどのような事を祭るのかを、その時初めて知る事ができた。他にはバレンタインデー、ハロウィン、そしてクリスマス。クリスマスには、家に大きなクリスマスツリーをかざり、その下にはたくさんのプレゼントが置かれていた。日本では、寝ている間にプレゼントが置かれているのが主流

だが、アメリカでは、クリスマス当日に両親からのプレゼントという形で受け取るのだ。このように、日本とアメリカの違いはおもしろいな、と思った。特に誕生日はビッグイベントだ。私の誕生日の日には、メッセージカードとプレゼントをもらった。人から祝われる事はうれしい事だと改めて感じた。

アメリカの建国記念日の日の事だ。遊びに行くと、いとこが来ていた。彼らは中国から来ていて、日本語が話せない。そして私も中国語が話せない。どうしよう、そう思った時だった。彼は私に、英語で話しかけてくれたのだ。互いの言語でない英語で話せた事がすごくうれしかった。話せた事にとっても感動した。あの時の事は、今でも忘れられない。

この家族との出会いによって、私は変わった。他国の人と出会い、話す事、そして互いを理解する事の大切さに気づく事ができた。そして、英語だけでなく、他の言語や文化をもっと勉強して、自分の視野を広げていきたいと思った。又、他国の事を知るだけではなく、日本の事もたくさん人に知ってもらいたい。そうする事によって、世界の人々との間に友情の輪が生まれ、世界の平和につながると思うのだ。ところで、2020年には東京でオリンピック、パラリンピックが開きいされる。東京オリンピック、パラリンピックでは、世界中から日本へとたくさんの人々が集まる。これは、大きなチャンスだ。このチャンスを生かして、他国と自国が理解し合える世界になる事を、私は期待している。